

津軽ダム本体建設工事 下流管理用橋梁工

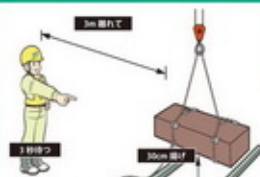
種 形 橋	別式	歩道橋 (プレキャスト床版)
	吊支	P C吊床版橋 (直路式)
ザ グ 量	長	9.5m
	支間長	9.5m
一 次 ケ ー ブ ル	ケーブル	2.8m
	ケーブル	F200
二 次 ケ ー ブ ル	ケーブル	(SEE工法)
	ケーブル	12T15.2
		(フレシナー工法)

橋台グランドアンカー工



永久アンカーF130TA
定着部9.5m 自由長15~18m

繰り返さないための安全10項目 (重点項目)



揚重作業による 吊荷落下及び 荷崩れ災害防止

- 吊荷は、30cm 離れて、3秒待って、3m 離れる(3・3・3運動)を実施し、車上での外傷は禁止とする
- 吊荷直下の人はいを徹底する
- 荷崩れが予想される場合は、荷の結束、高立入禁止を徹底し、特に背後が懸の場合、決裂防止に注意する
- 敷設板の安全基本レベルを徹底する

吊荷は、30cm 離れて、3秒待って、3m 離れる(3・3・3運動)を実施する(吊座押棒を徹底)



墜落による 災害防止

- 壁落危険箇所では、二重の安全対策を実施する(作業床+ネットまたはネット+安全帯など)



高い圧力・出力が発生する機械及び一般機械を取扱う作業の災害防止

- 高圧洗浄(10MPa以上)での作業は、顔面防護ネット(フェイスガード)により作業を行う(原則として教育終了後に実施)
- 高圧洗浄機などでの作業の少ない機械を取扱う場合は、専用器具と適切な作業を実施し、作業手前と側面と対面及び後方の50cmを確保し(周囲が確保する)
- 回転する機械(圧入機、圧入機、圧入機)を設置する場合は、キーや押子のシャフトには必ず手をはさむ
- 機械の回転、移動中は、電源を切り、回転停止による破損災害を防止する
- 機械使用時「一しんが作業」は、行わない



PC吊床版橋

